

東浪見小 だより

《学校教育目標》

「笑顔で“か・つ・や・く”する児童の育成」



めざす子ども像

『か』→かしこく（自らよく学びよく考える子ども）：確かな学力

『つ』→つよく（健康でやりぬく子ども）：健やか

『や』→やさしく（思いやりのある子ども）：心豊か

『く』→たくましく（すすんで働く子ども）：おもてなしの心

令和6年6月28日 (No. 4) 文責：校長

梅雨に入り、体調や健康管理に気を使う季節となりました。保護者の皆様におかれましては、これまで以上にお子様の健康に気を配っていることと思えます。

さて、6月の東浪見小は、水泳学習や各学年の校外学習、そして、5年生の宿泊学習と学習や行事を順調に進めてまいりました。単に皆様の御理解と御協力の賜です。感謝申し上げます。

現在、東浪見っ子達は、行事や授業等で各自の「有能感」を高めながら自己有用感を満たしているところですが、「折れない心(レジリエンス)」を養うことも大切でないかと考えます。レジリエンスは、心の「回復力」として扱われることが多いと思いますが、ここで言う「折れない心」とは、強いストレスなど困難な状況を背負ってしまった時にポキッと折れることなく立ち直ることができる「しなやかな心」のことです。様々な困難を柔軟に受け止め適応し立ち直る力です。学校生活の中では、子ども達は様々なストレスを感じます。大人にとっては「そんなこと？」と思うようなことが気になり「不安になったり、落ち込んだり」します。大人としては「愚直な力強さ」を身に付けて欲しいという願いもあるかと思いますが、時には妥協することも必要かもしれません。学校では、子ども達の援助要請（心のSOS）をしっかり受け止め、個々の「しなやかさ」が高まるように職員一同で力を合わせて指導してまいります。

ある資料では「学校行事」を通して子ども達の「レジリエンス」が高まったという報告があります。裏返すと、行事の中で子ども達は少なからずストレスや困難を感じる時があり、その経験を通して高めることができたのではないのでしょうか。新しいことを始めたり、行わなければ「ストレス」を抱え込まないこともあります。お子様が悩んだり苦しんだりした時には、たくさんのお話を聞いてあげてください。そして、保護者の皆様の経験などをお話ししていただければ幸いです。「褒める・認める」ことで成長が期待できます。

今後も、子ども達が将来なりたい自分に近づけるように、そして、学校生活や学習の場で「笑顔で か・つ・や・く」することができるように、保護者の皆様とともに子ども達を育ててまいります。

【男女総合8位入賞】

6月5日に行われた「郡市陸上大会」では、各選手が自己ベストを更新することを目標に頑張りました。個人種目で入賞した選手をはじめ、一人ひとりが各競技で活躍しました。そして、一緒に練習で汗を流した友達の力強い応援もあり「チーム東浪見(陸上部)」は、「男女総合8位」入賞に輝きました。

【お知らせ】

① 《相談窓口》

学校の相談窓口・関係機関の連絡先は下記のとおりです。

- ・いじめ・セクハラ・体罰相談窓口 教頭()・ (養護教諭)・
- ・特別な支援に関する相談 教頭()・
- ・スクールカウンセラー (毎月第2・4水曜日)

② 《熱中症予防について》

本校では、暑さ指数が31.0℃を超えた時は、原則グラウンドでの運動を中止しています。放課後も同様となりますので御承知おきください。